



男子 創造学園連覇 女子 都市大塩尻V4

全日本高校バレー県予選は創造学園が岡谷工業にトレット勝ち、全連覇の優勝を決めた。女子は東京都市大塩尻が松岡市ホワイトリングを3-0で退けて4

連覇を飾った。男子の創造学園は3校ブロックを軸にした組織的守りと、エース岡田の豪陣の強打で優勝。昨年全県3位の女子の都市大塩尻は要所でエースの森高相が決み、接戦の第2セットをものにす

全日本高校選手権は来	年1月5、7、10、11日
男子	創造学園3
女子	都市大塩尻3
男子	252625
女子	252525
男子	161315
女子	172419
男子	0
女子	0

高くて速い攻撃テスト

都市大塩尻 決定力増す攻撃陣



○ラリーの展開とならした。途中4強入りの66%を担い、40%の決った攻撃は、スパイした昨年も手だった高定率で貢献。岡田監督は「決定力とミスは少なすぎ、相手がスパイク陣がスパイクの精度を上げてくる都市大塩尻も

松岡学園一都市大塩尻、スパイクを決めて第2セットを奪い、東京都市大塩尻、小林慎(4)ら細めた。勝敗の分かれ目第2セット。相手の流れになるとミス点してしまう悪い癖も出たものの、セット中盤にセンター小林慎やライト原、最終はレフ中島優が決めて26-24で奪った。試合を通じて決率63・6%をマークした小林慎は「相手は高相をマークするので、他の選手がどう躍るか勝敗の鍵を握る」と自覚を口にした。練習は、高相を中心に簡単なミスをしないように声を掛け合っている。小林慎は「昨年から先発は入れ替わったが、日本一という目標は変わらない。チームは持ち味のブロックから速い攻めの精度を磨き、年明けの全県の舞台に挑む。

■この記事・写真等は信濃毎日新聞の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。